

特定非営利活動法人アート NPO リンク

2017 年度 事業報告書

●事業報告要旨

アート NPO リンクの組織体制や活動が大きく変化した 2016 年度から 2 カ年が経ちました。人的体制や経営基盤が脆弱な状態であるため、2015 年度の全国アート NPO フォーラム in 浜松の開催以来、アート NPO リンクが主体となって行う事業は休止している状況ですが、2017 年度は受託事業を中心に活動して参りました。

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）の委託による「Tokyo Art Research Lab『アートプロジェクトのつかまえかた：評価の視点／検証の手法』における調査検証業務委託」では、「東京アートポイント計画」の 9 カ年に及ぶ事業の成果や効果の検証と考察を行い、特定非営利活動法人地域サポートわかさの委託による「協働アート NPO コーディネート業務」では、「移動式屋台型公民館（パーラー公民館）」というユニークな取り組みでのワークショップのコーディネートや事業評価を行いました。

また、各地の自治体、大学、文化施設、文化団体等による、文化政策や文化事業に関するフォーラム、シンポジウム、セミナー、講座に講師を派遣し、近年の文化政策の傾向や文化事業に対する評価や助言を行いました。個別の事業主体との委託・受託という関係を越えて、今後のアート NPO リンクのネットワークをより広げ、多様なセクターのパートナーとの連携や協働の可能性を開く有意義な活動となりました。

なお、2017 年度では、京都市から青森市への法人住所の移転に伴う、定款の変更手続き、行政への報告、法人登記の再手続きや、インターネット銀行の口座開設など、事務局運営の改善にも努めました。未だに事務局運営にはいくつかの課題が残されておりますが、引き続き、課題を一つずつ処理していきたいと考えております。

アート NPO リンクの 2017 年度事業は、以下の事業を実施しました。

●昨年度の事業概要

フォーラム事業

浜松市創造都市推進会議：シンポジウム「地域とアート～草の根アートプロジェクトからの考察～」(協力) ほか

ワークショップ事業

京都:Re-Search 実行委員会：ワークショップ「アーティストによる『滞在』と『制作』」(派遣) ほか

国際交流事業

該当事業なし

情報収集・発信・調査研究事業

アーツカウンシル東京：Tokyo Art Research Lab「アートプロジェクトのつかまえたかた：評価の視点／検証の手法」における調査検証業務(受託) ほか

コーディネート事業

特定非営利活動法人地域サポートわかさ：協働アートNPOコーディネート業務(受託)

その他目的を達成するために必要な事業

該当事業なし

ワークショップ事業

京都:Re-Search 実行委員会：ワークショップ「アーティストによる『滞在』と『制作』 (派遣)」

京都:Re-Search 実行委員会（京都府文化交流事業課を中心とする1府3市が構成団体）の主催によるフォーラム「地域“に”向き合う、地域“と”向き合う～アーティスト・イン・レジデンスから、未来に向けた対話～」での分科会のワークショップ「アーティストによる『滞在』と『制作』」にファシリテーターとして参加しました。アーティストやコーディネーターなど立場の異なる10名程度が1つのテーブルに座り、オープンに会話することで、アーティスト・イン・レジデンスに関するお互いの想い、知識や知恵を共有して理解を深めました。（2017.12.10）

京都:Re-Search 実行委員会
アーティスト・イン・レジデンスから、
未来に向けた対話

地域“に” 向き合う、 地域“と” 向き合う、

2017年12月10日(日)13:00-17:30
※開場12:30 会場=京都文化博物館 別館

京都府民総合案内・相談センター
TEL 075-411-5000
FAX 075-411-5001
E-MAIL 411.5000@pref.kyoto.lg.jp

京都文化博物館
11/30(木)17時まで
※お申し込みでも、定員に達し次第受付を
終了させていただきます。

京都府民総合案内・相談センター
TEL 075-411-5000
FAX 075-411-5001
E-MAIL 411.5000@pref.kyoto.lg.jp

京都文化博物館
11/30(木)17時まで
※お申し込みでも、定員に達し次第受付を
終了させていただきます。

京都府民総合案内・相談センター
TEL 075-411-5000
FAX 075-411-5001
E-MAIL 411.5000@pref.kyoto.lg.jp

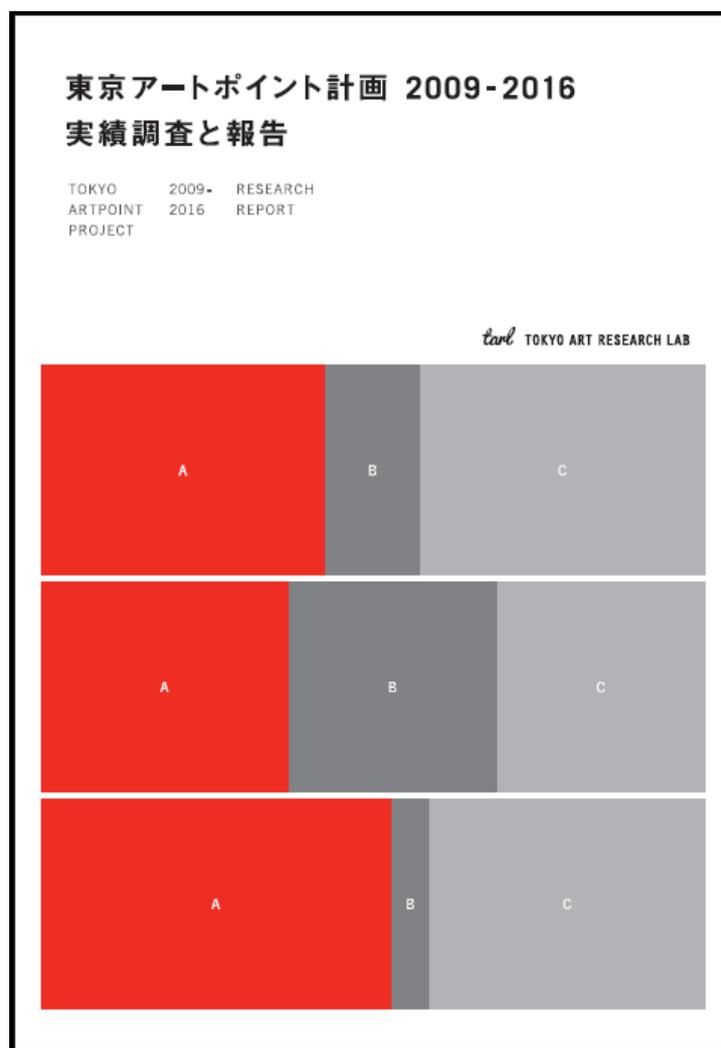
京都文化博物館
11/30(木)17時まで
※お申し込みでも、定員に達し次第受付を
終了させていただきます。

このほか、以下のような講座や研修会での講師として参加しました。

- 大阪音楽大学「地域と音楽」（2017.10.25）
- 公益社団法人全国公立文化施設協会「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会」（2018.1.17）
- 公益社団法人岡山県文化連盟 文化芸術交流実験室「伝統芸能から見る未来」（2018.2.17）

アートカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）「Tokyo Art Research Lab
「アートプロジェクトのつかまえかた：評価の視点／検証の手法」における調査検証業務」（受託）

東京都及びアートカウンシル東京が実施する「東京アートポイント計画」の2009年度から2017年度まで事業の成果を踏まえ、事業実績データや共催団体へのアンケート、ヒアリング調査を行うとともに、その結果を基にした検証、考察し、9か年の事業の結果、成果、波及効果を総括する調査検証作業を行いました。（2017.10～2018.3）



このほか、以下の調査研究にメンバーとして参加しました。

- 公益財団法人 東京交響楽団 「『フランチャイズ・オーケストラを中心とした市民のクオリティ・オブ・ライフの調査と向上のための事業』（2017.6～2018.3、ミューザ川崎・東京交響楽団事務所）

コーディネート事業

特定非営利活動法人地域サポートわかさ：協働アート NPO コーディネート業務（受託）

沖縄県那覇市の若狭公民館の指定管理団体である特定非営利活動法人地域サポートわかさが、隣接する曙地区において実施する移動式屋台型公民館（パーラー公民館）の活動で、地域の実態に即した創造的なワークショッププログラムを開発するために、アーティストやアート NPO とのコーディネートを行いました。また、移動式屋台型公民館の利用の実態調査やワークショップ参加者に対するアンケート調査を行い、本事業の評価、検証を行いました。（2017.7～2018.2）

パーラー公民館 大 報告会!!



2018.1.21(日) 13:30～16:30 (開場 13:00)

場 所：那覇市若狭公民館 3Fホール / 申 込：不 要 / 参加費：無 料

地域をたのしくするコツや工夫って何だろう？

「つどう・まなぶ・むすぶ」は、公民館の最も基本的で重要な機能です。この3つの機能には、「人が集い / 楽しく学びながら / 地域課題・生活課題解決のために実践する」という意味があります。

生活圏内に公民館がない曙地区で、8月から12月までの期間限定で『パーラー公民館』を実施してきました。そこでは、パラソルの下で多くの人が集い、互いに学び合いながら、楽しい地域を創っていくための場づくりを行ってきました。

『パーラー公民館大報告会』では、活動の総括として第Ⅰ部に実施報告と検証報告を行います。第Ⅱ部はパーラー公民館の設計を手がけた美術家の小山田徹さん、ふくおかNPOセンター代表を務める古賀桃子さんをゲストに招き、「公民館のあたらしいカタチ」について、本事業を企画した宮城潤（若狭公民館館長、パーラー公民館用務員）とともに懇談形式でお話をします。

これからの地域での活動のヒントが盛りたくさんです。みなさまのご来場をおまちしております。

お問合せ：NPO法人地域サポートわかさ（那覇市若狭公民館内）098-917-3446

主催：NPO法人地域サポートわかさ / 共催：曙小学校区まちづくり協議会、真和志北ブロック家庭教育推進委員会、子ども食堂 ほのぼのカフェ
平成29年度沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業「移動式屋台型公民館を活用した地域住民主体の「つどう・まなぶ・むすぶ」創造拠点創出事業」
支援：沖縄県、(公財)沖縄県文化振興会